

2001年



ふるさと

吉田 稔筆

No.56

平成13年1月
・編集・発行
柏市増尾近隣センター運営協議会・広報部
増尾近隣センター
〒277-0033 柏市増尾3丁目1番1号 ☎(74)7211

謹賀新年



▲21世紀の幕あけ 20年の歴史を誇る増尾近隣センター



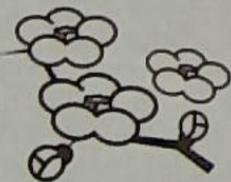
平成13年元旦
増尾近隣センター運営協議会
会長 吉田 総

明けましておめでとうございます。

平成13年の新春を迎えるにあたり、地域の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

当近隣センター運営協議会は、地域の多くの方々のご理解とご協力をいただきながらセンターの有効利用をはじめ協議会主催の諸行事につきましても多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。

私たち協議会は今後とも利用者の皆様がたにこの地域に住んでよかったです、行事に参加してよかったですと喜こばれる運営に努力いたす所存でございますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



平成13年・新春の行事日程

行事名	日時	会場	対象	参加費	申込み
新春囲碁・将棋大会	1月21日(日) AM 9:00より	増尾近隣センター (和室・会議室)	当近隣センター区域に在住又は在勤の方(50名)	500円	1月9日(火)~14日(日) 費用をそえて直接センターへ (AM10:00~PM 5:00)
健康教室 健康な生活のための講話とストレッチ 体操実技指導	2月24日(土) PM 1:00~3:00	増尾近隣センター (体育館)	当近隣センター区域に在住又は在勤の方(100名) 体操のできる服装	無料	詳細は回覧にてお知らせします

※芸能発表大会は3月11日(日)です。詳細お問い合わせは近隣センターまで。 ☎(74)7211

健康づくり推進員 神宮 順子

健康づくり推進員は、保健婦、栄養士、食生活推進員を始め、各町会からの推進員22名で活動をしております。毎月定例会があり、地域担当職員と推進員が話し合い、具体的な活動の方向を決める場です。ここで計画し決定し活動をします。おもな活動として、他の組合と協力連携しながら「母と子のつどい」、ウォーキング、健康講座、地域の行事等を進めます。

毎月開かれる定例会で、保健婦さんから声かけ訪問票を受け取り、各担当地域の妊産婦さんを訪問し、心配事や不安な事などないか伺います。又毎月最終金曜日は、「母と子のつどい」があり、毎回たくさんの親子の参加があり楽しみです。

増尾地域ウォーキングでは、ウォーキングの話(効率的な歩き方など)の講習会と近隣センター周辺の、ウォーキングの実践編があります。地域行事では、ちびっこ体操教室、体育祭の協力、敬老のつどいでは、おでんの出店の参加があります。

手賀沼ウォーキングの協力など、他にも参加行事、活動がありますが簡単に紹介させて頂きました。

ピヨピヨさん! こんなこと、こんなことができますか?

待ち望んだ秋晴れの11月18日(土)午後、体育館は受付開始直後から元気なちびっこのかわいがり声が響き渡った。50組130名の参加と、ちびっこ体操教室(親と子のふれあい遊び)始まって以来の大盛況。おなじみの石原由紀子先生のご指導で、あいさつの後いも堀り、ストレッチそしてミッキーマウス体操へと続き、家庭でできるゲームの紹介。休憩の後は定番のサーキット。いつも人気のトンネル遊びには、機関車トマスが登場し、あっという間に超満員。整理体操はミッキーのパラパラ体操で締め。半数近くが2歳児という構成にもかかわらず、最後まで先生のご指導に飽きることなく満足して終えることが出来たようです。夏の教室では仲間に入れなかつたが今回は最後までやり通せたちびっこ成長振りを励みに来年度も企画しますので、次回もお誘い合わせの上ご参加下さい。

(保健体育部・安富)



20世紀のあなたの 想い出の歌は?

過ぎゆく「20世紀」。あなたの心に残った歌は何でしょうか。増尾近隣センターのコミュニティ・カレッジの活動として、みなさんの思い出の歌を集めて発表します。ジャンルは問いません。歌謡曲・童謡・民謡・クラシックその他、思い出やエピソードとともに寄せください。

※くわしくは、別途配布の募集チラシをご覧ください
(センター・宮崎)

シルバースポーツ ゲートボール大会

親睦と健康を主体とした、競いの祭典ゲートボール大会が、当運営協議会の主催で、去る10月8日(日)盛大に開催されました。

スポーツの秋、この日はさわやかな競技日和となり、地区老人クラブ6チームの人達が参加され、熱戦が繰り広げられた。日頃、鍛えた練習の成果を十二分に発揮され、声援のなか好ゲームが、展開された。スポーツマンシップにのついた本大会も、次の単位クラブの人達が健闘され晴れて入賞されました。

記

優 勝 増尾南ヶ丘クラブ
準優勝 増尾長寿会
三 位 増尾新星会

(福祉部・千代間)



▲地区の老人クラブ対象で20回目を数える

地域の和を広げる 第20回体育祭 10/15

第20回体育祭は、10月15日足達運営協議会副会長の開会宣言で幕をあけ、体育指導員脇田直先生のご指導で十分に身体をほぐしました。健康体操部のビーンズバッグル体操披露のあと競技開始。風船割りでは、条件を厳しく査定する審判と選手の間で一時にらめっこ。また競技中は互いに牽制しあい景気よい風船の割れる音が聞こえない。次の「心合わせてトントンバッ(キヤツチザスティック)」はいかに全員の気持ちが一つになるかが鍵。今年は9名がスティックを受け渡しするようにしたため難しく、なかなか得点が伸びない。そんな中で、少年野球シャトルズ(加賀町会)は、掛け声も心もぴったり合った見事な演技を披露しました。午後は玉入れ、ボール送りの後、恒例のインディアカの実技指導、そして表彰式。今年は増尾町会と協議会役員チームが健闘し上位を占めました。順位はさておき、年1回、町会・自治会の運営に苦労されている役員の皆さんを中心に、是非当体育祭で交流の輪を広げませんか。なお、キヤツチザスティックの用具2式は、ご希望があれば貸し出します。正式な審判で記録を体育協会に申請するとごほうびがもらえるそうですよ。

(保健体育部・安富)



▲この真剣な顔つきと腰つきで勝敗が決る

第20回文化祭&地域ふれあいのつどい(同時開催) —人・芸術・文化—

文化部・土地区社会福祉協議会

去る11月2日と3日の2日間恒例の文化祭が、増尾近隣センターにおいて開催された。参加団体は、小学校3校、中学校2校、高校2校等あわせて総数48団体に達し、参加数2,200名超、出展者数約800名、出展点数1,000点を上回り、すぐれた作品も多く昨年以上に盛況のうちに終ることができた。

(文化部・高橋)



▲センター入口を飾る見事な生け花



▲すばらしい作品に感嘆のためいき



▲広い体育館も狭く感じる作品の数々



▲家計を助ける野菜の大特売!早い者勝ちですよ

手賀沼水辺写真展について

10月3日(火)~10月9日(月)の間、増尾近隣センターロビーにおいて「手賀沼の四季」水辺写真展を実施し、1535名の方に見学をしていただきました。また水質の透明度などで見て分かるよう手賀沼、大津川、柏市水道水、吉田会長宅の井戸水の比較展示を行ないました。

(環境部・吉澤)

ごみ体験ツアーについて

10月20日(金)ごみ体験ツアーを実施、20名の参加者を得て、資源化推進センター(衣類、古紙、ダンボール、瓶、缶)、プラスチックごみ処理場、柏市清掃工場(生ごみ)等を見学、それぞれ自分の目で見て、ごみの出し方、分別、減量と再利用について、更に認識をあらたにしました。遠く縄文の時代から、人間が生きて行くうえにおいて、ごみの発生を防ぐことはできないことで、これを最小限に減量するのが人間の知恵であり、創意工夫によって再利用するのも人間に与えられた課題であります。

(環境部・吉澤)

近隣センター使用のきまりが改ります ただ今 登録受付中

本年又は平成13年4月から、いよいよ近隣センター使用のきまりが改まります。これまで各地域の住民の皆さんの代表として、ふるさとづくり等協議会などの意見をもとにとりまとめられ、最終的には12月市議会で近隣センター条例の改正となったものです。またこれに伴って有料化が図されることになりました。今後は毎月始めのセンター窓口での受付手続きなどもなくなり、自宅の電話やセンターに備え付けられた端末機から申込等ができるようになります。なお一部実施手続きとしてすでに登録事務が開始されています。

近隣センターを活動の拠点として定期的に使用されているサークルの方々は是非早目にお済ませください。詳しいお問い合わせはセンター窓口へ直接又はお電話ください。

(センター長・桜井)

増尾町会主催 芸能大会



▲21世紀に向かって躍動

計 報

山本久殿(享年82才)、当近隣センター運営協議会副会長を永年勤めてござりましたが、12月1日ご逝去されました。ここに慎んでご冥福をお祈り申し上げます。